

将来にわたって、子どもたちが安定した生活を送るために

関係機関と協力した「租税教室」

税金は私たちの生活のさまざまなところに関わって、暮らしを支えています。少子高齢化が進む中、互いを支え合う税の仕組みを子どもたちが学ぶことは、未来の安定した社会を築くことにつながります。

市では旭県税事務所などと協力し、小中学校で租税教室を実施しています。この教室では納められたさまざまな税金の使い道や制度などについて学んでいます。自分たちが使っている校舎や教科書なども税金で賄われていることを学習します。



小学校6年生を対象にした租税教室

子どもたちの身近なことを基に、一人一人が納める税金が社会を支えていることを学び、税を大切にする意識を育てています。

消費者トラブルから身を守るために

「無料サイトにアクセスしたら、高額請求のメールが届いた」「借入れをしたら高額な返済を迫られた」など、悪質商法は年々巧妙になっています。インターネットでの無料ゲームに関するトラブルは、小中学校生が対象となるケースも少なくありません。こうした消費者トラブルに巻き込まれないよう、中学校の家庭科では、消費者トラブルの実例や解決方法について学習しています。悪質商法には、アポイントメントセールス、キャッチセー

ルスなどがあることや、万一トラブルに巻き込まれてしまったら、消費生活センターに相談したり、クーリング・オフ制度を活用したりすることを学びます。市でも消費者教育として、消費者トラブルに関する小中学校出前講座を実施しています。

また社会科では、30歳代半ばの人の月収を基に、収入と支出のバランスを考える学習をします。家族構成を想定し、食費、光熱費、教育費、交際費などの収支計画を立てます。自分の収支計画を友だちと話し合うことで、より良い収支についての理解を深めます。この学習は「安易な借入れ」防止にもつながります。消費者トラブルに巻き込まれないためには、家庭での話し合いも大切です。消費者トラブルの例を基に、巻き込まれないための方法について、ぜひ子どもと話し合ってみてください。

消費者トラブルの事例

- 無料ゲームで費用が掛かることを知らずに、たくさんアイテムを購入し、カード会社から10万円もの請求書が届いた。
- 無料ゲームのアイテム欲しさに、子どもが無断でカードを持ち出し、年齢を偽って登録。カード会社から高額請求書が届いた。

児童の見守りに協力を「帰宅を促す放送」

防災行政無線を利用した、帰宅を促す放送の時間を、4～8月は午後5時に変更します。

なお年間の放送時刻は下記のとおりです。

放送期間・時間／●4月1日～8月31日：午後5時

●9月1日～10月31日：午後4時30分 ●11月1日～1月31日：午後4時 ●2月1日～3月31日：午後4時30分

校長リレーエッセイ 20



あいさつ・返事・服装は大切

海上中学校長
とうがね
當金 泰光

先日、某会社の課長と話した内容です。大卒の新入社員のAとBがいました。課長は企画の仕事を二人のどちらかに任せようと思い、Aを呼びました。Aは返事をせずに課長の元まで来ました。続いてBを呼んだところ、Bは「はい」と大きな声で返事をして課長の元まで来ました。課長は仕事をBに任せたと。理由は、あいさつや返事は初対面の人と人が触れ合う瞬間の最初の言葉

です。人とのつながりを広げるため、あいさつや返事は大切だと認識し、返事ができない社員には仕事上のコミュニケーションも広げられないので、会社の大切な仕事も任せられないと判断したそうです。

もう一つ、これは私自身の経験ですが、妻の姉夫婦と旅行をしました。1泊目はリゾート地、2泊目はギャップを楽しむために、横浜のホテルへ宿泊しました。2泊目の夕食を中華街の有名老舗店で食べることにしましたが、服装は4人そろって前日のリゾート地で過ごしたTシャツ・短パン・サンダルだったのです。「個室をお願いします」と言うと、店員は「本日は予約でいっぱいです。大広間のテーブルへどうぞ」。仕方なくテーブルに着き「至福コースを4人お願いします」と言ったら数分後に別の店員が飛んできて「ただ今、個室のキャンセルが出たのでご案内します」。きっと最初の店員はラーメンと餃子を食べに来た客だと服装で判断したのだと思いました。場に合った服装って大切だと思いました。